**ハンドマイク街頭演説原稿例　　豪雨災害・パラ中止・平和な日本を**

二〇二一年八月十六日　日本共産党埼玉県委員会・作成

ご近所のみなさん、こんにちは。日本共産党です。本日はこの場所をお借りして、日本共産党の政策を訴えさせていただきます。しばらくの間ご協力をお願いいたします。

みなさん、連日の大雨により、全国各地で河川氾濫や土砂災害が発生し、多くの被害が発生しています。被災されたみなさまに、心からお見舞いを申し上げるとともに、救援募金など被災者支援に全力を挙げていきます。みなさまのご協力をよろしくお願いします。

　さて、みなさん、新規感染者は連日、増え続け、まさに感染爆発ともいうべき広がりです。全国で２万人超、都内では５０００人超の新規感染者がうまれています。埼玉県では、過去最多の１８００人に上り、自宅療養者が１万５０００人近くに達しています。すでに重症者の入院受け入れが困難になるなど、県内医療のひっ迫はきわめて深刻です。

みなさん、いまの感染爆発ともいうべき深刻な事態を招いた責任は、専門家や野党からの様々な警鐘を無視し、政治的な思惑で五輪を強行開催した菅首相にあります。まさに菅政権よる人災ではないでしょうか。とりわけ問題なのは、コロナの感染抑止とは矛盾する五輪開催を強行したことで、いまの深刻な事態への危機意識を行政と国民が共有できず、感染収束のため国のメッセージが国民に届かなくなったことです。菅首相はみずからの失政によって感染爆発を招いた責任を認め、その反省のうえにパラリンピックの中止をただちに決断すべきです。そのうえで、国費による大規模ＰＣＲ検査の実施、営業とくらしの補償、医療機関への支援などコロナ収束のためのあらゆる対策をただちに行うべきです。日本共産党は、パラリンピックを中止し、コロナ収束に集中するよう強く求めていきます。

４回目の緊急事態宣言により、飲食店はじめ事業者の経営もいよいよ限界です。日本共産党は、第２弾の持続化給付金や家賃支援金の支給を国にあらためて強く求めていきます。持続化給付金の再支給を求める署名も始めました。事業者はじめ、みなさんと力をあわせてがんばります。ご支援をよろしくお願いします。

　みなさん、この夏、７６回目の終戦記念日を迎えました。日本共産党は、戦前、日本軍国主義による侵略戦争と植民地支配に一貫して反対した政党です。国民の痛苦の体験を経て国民が手にした憲法９条を守り抜き、平和な日本と世界を築くために全力をあげる決意を新たにしています。憲法９条を守るためにご一緒に力をあわせていきましょう。

核兵器禁止条約が今年１月に発行されましたが、広島・長崎の式典であいさつした菅首相は核兵器禁止条約に背を向ける姿勢に終始しました。数か月後に迫った総選挙では、市民と野党の共闘で菅政権を倒し、核兵器禁止条約に参加する政府をつくるため全力でがんばります。来る総選挙では、非核・平和の日本をめざす日本共産党の躍進にぜひみなさんのお力をお貸しください。比例代表選挙で、日本共産党を大きく伸ばしてください。みなさんの大きなご支援を重ねてお願いします。

　最後に、いま話題の政治バラエティ映画・「パンケーキを毒見する」にも登場する「しんぶん赤旗」を、この機会にぜひご購読いただきますようお願いしまして、この場所をお借りしての日本共産党の政策の訴えを終わります。ご協力ありがとうございました。（了）